

東京大学

大学院便覧
(教育学研究科)



平成20年度

※ 平成20年度便覧・シラバスの
修正箇所を
修正箇所を

301-19	教職開発・理論研究 (教職開発・基礎研究)	英語教育・基礎研究	2	夏	教授	高橋 和久	教育内容開発コースとの合併科目
301-20	教職開発・理論研究 (教職開発・発展研究)	英語教育・発展研究	2	冬	教授	高橋 和久	教育内容開発コースとの合併科目
301-21	教職開発・理論研究 (教職開発・基礎研究)	社会科学教育・基礎研究	2	夏	教授	並木 頼壽	教育内容開発コースとの合併科目
301-22	教職開発・理論研究 (教職開発・発展研究)	社会科学教育・発展研究	2	冬	教授	並木 頼壽	教育内容開発コースとの合併科目
301-23	教職開発・理論研究 (教職開発・発展研究)	数学的思考の発達と授業過程	2	冬	准教授	藤村 宣之	教育内容開発コースとの合併科目 集中講義
301-24	教育内容開発・理論研究 (芸術教育・発展研究)	芸術教育の実践研究	2	夏	非常勤講師	金田 卓也	教育内容開発コースとの合併科目

学校教育高度化専攻

教育内容開発コース

[備考欄の*印は、教育内容開発コース所属学生に限る。]

科目 番号	授 業 科 目	講 義 題 目	単 位 数	学 期	担 当 教 員		備 考
					職 名	氏 名	
302-01	教育内容開発・理論研究 (科学技術教育・基礎研究)	アメリカ生命倫理学の歴史	2	夏	教授 教授	金森 修 佐藤 勝彦	
302-02	教育内容開発・理論研究 (数学教育・基礎研究)	数学カリキュラムの構造研究	2	夏	教授	岡本 和夫	
302-03	教育内容開発・理論研究 (言語教育・基礎研究)	ことばの教育と授業	2	夏	非常勤講師	高木 展郎	
302-04	教育内容開発・理論研究 (人文社会教育・基礎研究)	市民性の教育理論	2	夏	教授	川本 隆史	
302-05	教育内容開発・理論研究 (数学教育・発展研究)	数学カリキュラムの展開研究	2	冬	教授	岡本 和夫	
302-06	教育内容開発・実践研究 (科学技術教育・事例研究)	生命と政治	2	冬	教授 教授 教授	金森 修 佐藤 勝彦 佐藤 学	
302-07	教育内容開発・実践研究 (数学教育・事例研究)	数学教育の事例研究	2	冬	教授 教授	岡本 和夫 佐藤 学	
302-08	教育内容開発・実践研究 (言語教育・事例研究)	言語教育事例研究	2	冬	教授 教授	佐藤 学 高橋 和久	※302-09 との 合同科目
302-09	教育内容開発・実践研究 (人文社会教育・事例研究)	市民性の教育実践	2	冬	教授 教授	川本 隆史 佐藤 学	※302-08 との 合同科目
302-10	教育内容開発・論文指導 (科学技術教育・論文指導)	科学技術教育論文指導	2	冬	教授	金森 修 佐藤 勝彦	*
302-11	教育内容開発・論文指導 (数学教育・論文指導)	数学教育論文指導	2	冬	教授	岡本 和夫	*
302-12	教育内容開発・論文指導 (言語教育・論文指導)	言語教育論文指導	2	夏	教授	秋田 喜代美	*
302-13	教育内容開発・論文指導 (人文社会教育・論文指導)	人文社会教育論文指導	2	夏	教授	川本 隆史	*
302-14	教育内容開発・論文指導 (教育内容開発・論文指導)	英語教育論文指導	2	夏冬	客員教授	鳥飼 玖美子	*
302-15	教育内容開発・理論研究 (教育内容開発・基礎研究)	学習科学による授業研究	2	冬	非常勤講師	白水 始	(集中講義) 教職開発コースとの合併科目
302-16	教育内容開発・理論研究 (教育内容開発・基礎研究)	カリキュラム研究の基礎	2	冬	教授	佐藤 学	教職開発コースとの合併科目
302-17	教育内容開発・理論研究 (教育内容開発・発展研究)	授業分析の方法と課題	2	夏	非常勤講師	的場 正美	(集中講義) 教職開発コースとの合併科目
302-18	教育内容開発・実践研究 (教育内容開発・事例研究)	授業の事例研究	2	夏	教授	佐藤 学	教職開発コースとの合併科目
302-19	教育内容開発・実践研究 (教育内容開発・事例研究)	カリキュラムの事例研究	2	冬	教授	佐藤 学	教職開発コースとの合併科目
302-20	教育内容開発・実践研究 (教育内容開発・実地研究)	カリキュラムの実地研究	2	冬	教授	佐藤 学	教職開発コースとの合併科目
302-21	教育内容開発・理論研究 (教育内容開発・基礎研究)	学校経営組織論	2	夏	准教授	勝野 正章	学校開発政策コースとの合併科目
302-22	教育内容開発・理論研究 (教育内容開発・発展研究)	学校経営の理論的研究	2	冬	准教授	勝野 正章	学校開発政策コースとの合併科目
302-23	教育内容開発・理論研究 (教育内容開発・発展研究)	現代学校経営改革論	2	冬	非常勤講師	天竺 茂	(集中講義) 学校開発政策コースとの合併科目
302-24	教育内容開発・理論研究 (教育内容開発・発展研究)	組織としての学校	2	夏	非常勤講師	萩田 英樹	学校開発政策コースとの合併科目

2008(平成20)年度

講義計画と内容

教育学研究科

科目番号：301-21	担当教員：並 木 頼 壽	単 位 数： 2	学 期： 夏
講義題目：社会科学教育・基礎研究		授業科目： 教育内容開発 ・理論研究 (人文社会教育 ・基礎研究)	
Basic seminar on education of social science 教職開発			
19世紀末から20世紀前半にかけての中国では、清朝末期の諸改革を経て、中華民国という共和国が誕生し、政治体制の変革に伴って教育制度の面でも大きな改革が行われました。伝統的な社会から近代的な社会への変化の過程を、とくに教育制度の変化に着目して再検討してみたいと思います。			
本学他研究科学生		履修可 (名まで) / 履修不可	
特別聴講学生 (お茶の水女子大学大学院学生)		履修可 (名まで) / 履修不可	

科目番号：301-22	担当教員：並 木 頼 壽	単 位 数： 2	学 期： 冬
講義題目：社会科学教育・発展研究		授業科目： 教育内容開発 ・理論研究 (人文社会教育 ・発展研究)	
Advanced seminar on education of social science 教職開発			
19世紀末から20世紀前半にかけての中国では、清朝末期の諸改革を経て、中華民国という共和国が誕生し、政治体制の変革に伴って教育制度の面でも大きな改革が行われました。清朝末期の教育制度の改革では、科举が廃止されて学校制度が導入されたことが、もっとも大きなできごとです。科举の時代の教育制度と、学校制度導入以後の状況について、関連史料を参照しながら考えてみたいと思います。			
本学他研究科学生		履修可 (名まで) / 履修不可	
特別聴講学生 (お茶の水女子大学大学院学生)		履修可 (名まで) / 履修不可	

教職開発

科目番号：301-23	担当教員：藤村 宣之	単位数：2	学期：冬
講義題目：数学的思考の発達と授業過程		授業科目： 教育内容開発 ・理論研究 教育内容開発 (数学教育・発展研究)	
Development of Mathematical Thinking and Mathematics Education			
数学的思考の発達とそれを促進する授業過程について、どのような心理学的方法論を用いて研究を行うことが可能か、また、どのような教育心理学上の知見が得られているかについて理解を深めることを目標とする。 数学的思考の発達の解明のための心理学的方法論としては、①横断研究と縦断研究、②マイクロジェネティックアプローチ、③個別介入研究などについて、授業の過程と効果の解明のための心理学的方法論としては、①教授介入研究、②授業過程研究、③縦断変化研究などについて、内外の学術誌掲載論文などの具体的研究事例をもとにそれぞれ解説を行う。また、数学的概念の発達、数学的思考の促進可能性、授業を通じた概念的理解の深化や手続き的知識の獲得などに関して、教育心理学上の知見を解説する。さらに、それらの研究の意義や、今後の心理学的研究の方向性について議論を行う。			
本学他研究科学生	履修可	(10 名まで)	／ 履修不可
特別聴講学生 (お茶の水女子大学大学院学生)	履修可	(5 名まで)	／ 履修不可

教職

科目番号：301-24	担当教員：金 田 卓 也	単 位 数： 2	学 期： 夏
講義題目：芸術教育の実践研究		授業科目： 教育内容開発 ・理論研究 (芸術教育 ・発展研究)	
Practical Research on Art Education		教職開発	
芸術表現の基底にあるイメージ・想像力・身体感覚といったものは学校教育においてあまり重要視されてきたものではない。それは、図工・美術・音楽などの教科教育としての芸術教育が常に主要教科以外のものとして扱われてきたことにもあらわれている。教育において芸術表現について考えるということは学校教育そのもののあり方を問い直すことにもつながることである。本授業の目標は、他教科とは大きく異なる芸術教育の本質を理解し、学校教育における芸術教科の位置づけを明らかにするとともに、総合的な学習など教科教育の枠を外した場における芸術活動の可能性を探ることにある。履修院生それぞれの実践研究分野と芸術教育を関連付けて授業を進めていく。 「芸術 (art)」というきわめて多義的な言葉が語られるとき、その意味するものは語るひとりひとり、受け取るひとりとひとりで大きく異なっている。本授業ではそうした問いを出発点に、芸術と教育をめぐる諸概念を概観し、芸術教育の具体的な実践事例を検討しながら考察を試みる。授業の中で実際に表現活動を試み、表現することの喜びとはなにかということを実際に体験することも本授業の重要な部分である。教科教育としては主要ではなくても、子どもたちの生活を見ると、ロック音楽やビジュアル・アートは欠かせないものになっている。従来の「音楽」・「美術」という芸術概念ではなく、メディアやサブカルチャーと関連したより広い意味での「アート」も含めて、芸術教育をとらえたい。最近の欧米の芸術教育実践の動向やアートセラピーについても紹介する。子どもたちの表現した作品事例を取り上げ、芸術教育の実践方法を具体的に探っていく。			
本学他研究科学生		履修可	(若干名) / 履修不可
特別聴講学生 (お茶の水女子大学大学院学生)		履修可	(若干名) / 履修不可

科目番号：202-07	担当教員：佐藤 香	単 位 数： 2	学 期： 夏
講義題目：教育社会の計量分析		授業科目： 教育社会学特殊研究	
Quantitative Analyses of Education and Society			
この講義では、既存の社会調査データの二次分析を通じて、計量分析の基本的な手法を身につけることを中心的な目的としている。講義で扱うおもなトピックスは、1)社会調査データの構造、2)変数の種類、3)基本統計量、4)検定の考えかた、の4つである。分析手法としては、クロス集計分析、回帰分析、分散分析、ロジスティック回帰分析、因子分析について学習する。 基本事項の説明ののち、受講生が実際に調査データの分析をおこなうが、計量データ分析の初学者でも受講可能である。その分析作業をふまえ講義では、出力結果の読み取りかた、データハンドリングなどについて習熟できるよう、ゼミ形式で各自の分析結果を検討していく。分析にもちいるデータとしては、社会科学研究所 SSJ データアーカイブの所蔵データから選択し、インターネットを利用したリモート集計もおこなう。最終課題として、計量データ分析に基づく論文執筆が課せられる。 なお、この授業科目は、専門社会調査士資格取得のための「H. 調査企画・設計に関する演習科目」に該当する。			
本学他研究科学生		履修可（ 名まで） / 履修不可	
特別聴講学生（お茶の水女子大学大学院学生）		履修可（ 名まで）	

科目番号：202-08	担当教員：恒吉 僚子	単位数：2	学期：夏
講義題目：質的方法論研究 II		授業科目：比較教育学基本特殊研究	
Qualitative Research Methods II			
<到達目標> 質的方法論研究 I における、フィールド・ノート等に関する基礎知識・スキルを前提として、各自の研究・クエスチョンの設定、研究・クエスチョンに合った方法の吟味、質的データから分析を引き出していく方法に対する理解を深める。 <授業の概要> 質的方法論研究 I の知識やスキルを前提とした上で、研究・クエスチョンの設定、方法論との結び付け方を、いくつかの既存研究を通して検討した後に、各自の研究・クエスチョンを通して具体的に練習をする発展的内容である。質的方法が強さを発揮する領域と課題を、具体例を通して検討していく。いくつかの代表的な方法、エスノグラフィー、インタビュー、質的事例研究、質的内容分析等について、各自のテーマに沿って、研究・クエスチョンとの整合性、説得性の獲得、分析の引き出し方についての検討を行う。形態としては、講義、フィールドでの調査、グループでの討論とクラス全体での発表討論を組み合わせた形式になる。質的方法論 I とあわせて受講すること。			
本学他研究科学生		履修可（名まで） / 履修不可	
特別聴講学生（お茶の水女子大学大学院学生）		履修不可	